

とよころ

議会だより

No.58

2009年5月 北海道中川郡豊頃町議会発行



36億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月5日に招集され、町長の改選期であることから骨格予算となる平成21年度当初予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成20年度補正予算など37議案を慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決・同意し、11日に一般質問等を行なって閉会しました。

平成21年度当初予算一般会計は36億8千816万5千円で、対前年度比1・8パーセントの減、特別会計を合わせた8会計総額では、52億1千332万4千円で、対前年度比4・3パーセントの減となっている。
歳入では普通交付税は1億7千154万7千円減の20億5千755万4千円、臨時財政対策債は7千509万5千円増の2億1千100万が見込まれている。
歳出では、妊婦健康診査の助成拡大に181万円、ふるさと給食事業に192万円、ほか継続事業として協働のまちづくり地域提案事業、福祉タクシー乗車券交付事業等を計上。審議内容については30ページに掲載されています。

また、平成20年度一般会計ほか7特別会計が次ページのとおり補正されました。
おもな補正の内容としては、定額給付金事業費、地域活性化・生活対策臨時交付金事業費として本年6月定例会において予算措置予定の教員住宅建設費及び総合体育館塗装改修費の財源とするための基金積立金、明渠排水維持補修費、林道・作業道補修費、種苗中間育成施設、物産販売所店舗新築及び屋外トイレ新築費、除雪・道路維持車両等購入費、河川維持補修費、豊頃中学校屋体耐震改修工事費、豊頃医院ボイラー更新・給湯設備改修費等に要する経費を追加したものである。

平成21年度各会計の当初予算の比較(単位:万円)

会計名	21年度	20年度	比較	伸び率	
一般会計	36億8,816.5	37億5,627.1	▲6,810.6	▲1.8%	
特別会計	国民健康保険特別会計	5億6,744.9	5億7,511.3	▲766.4	▲1.3%
	介護保険特別会計	2億9,869.1	3億0,114.7	▲245.6	▲0.8%
	老人保健特別会計	63.6	6,694.7	▲6,631.1	▲99.0%
	後期高齢者医療特別会計	4,453.7	4,999.0	▲545.3	▲10.9%
	医療施設特別会計	1億5,469.5	1億5,474.5	▲5.0	▲0.0%
	簡易水道特別会計	2億3,579.9	3億0,900.4	▲7,320.5	▲23.7%
	公共下水道特別会計	2億2,335.2	2億3,662.2	▲1,327.0	▲5.6%
計	52億1,332.4	54億4,983.9	▲2億3,651.5	▲4.3%	



第3次総合開発計画の検証

街並みの活性化に努めたい

一般質問

大崎英樹議員 平成10年から平成21年までの総合開発計画の最終年になるが計画どおり実現しているか。

宮口町長 第3次計画の進捗につきましても、施策評価結果によると約87パーセントの達成率であり、平成21年度の実施事業を含めると、もう少し上昇するものと判断している。

大崎英樹議員 市街地の整備計画について、特に中心的市街地はどのように考えているのか。

宮口町長 茂岩市街地については、本町の中心市街地として、それなりに整備された。豊頃市街地は、本町の玄関口として、道路整備を実施。中央市街地は、文

教ゾーン及び定住対策のための住宅団地の整備を実施。

大津市街地については、大津コミセンの建設を



茂岩市街地

図り、防災対策を含めた整備に取り組んでいる。

市街地整備の関連として「道の駅建設」は茂岩入り口の物産販売所の運営状況を見ながら商工会や関係機関と建設の是非を十分協議・検討していきたい。

温泉ボーリングについては、経済情勢や投資効果等を考えると休止せざるを得ないと判断している。

大崎英樹議員 本町の商店街プランを作成し、にぎやか街並みの再生、復興を考えるべきであり、プロジェクトチーム又は研究的なものに関係団体と煮詰めるべきと思うがその考えはあるか。

宮口町長 第4次総合計画を策定中であり商工関係の方々の情報提供をいただきながら行政も地域の実態を身近に感じて、お互い共通した情報のもと、議会・商工・行政が一体となって市街地の活性化に努めたい。

学校教育の将来

9年間で計画的に報徳を学ぶ

大崎英樹議員 空き店舗、空き地対策として長期的観点から民間地を行政が取得し、活用すべきと考えるが。

宮口町長 商工関係者と十分協議しながら、所有者とのこともあるが、第4次総合計画策定にあたり積極的に検討して参りたい。

大崎英樹議員 本町の歴史、自然条

件から定住希望者がおりますので定住要件を行政として立案してはどうか。

宮口町長 定住希望者、並びに起業家の方々のために、本町をPRし、可能な限り資料や事務的協力をいたし、排他的な気持ちではなく進めて参りたいと考える。

大崎英樹議員 本町の教育の特徴として報徳の教えを重要な内容として推進しているが、豊頃町小中学校連携教育推進会議の現況と今後の予定は。

村中委員長 従来から報徳の教えを教育行政推進の指針とし、義務教育の9年間を生きる力を育む期間と位置づけ連携教育に取り組んできた。

児童間・児童生徒間の交流による人間関係づくり、学校間・教職員間の交流や連携の推進、義務教育9年間の連続教育課程の指導を3つの柱として事業を進めている。

菅原教育長 今後は、連携教育推進会議を継続しながら

ら一貫した小・中学校教育課程の接続に取り組み、9年間で報徳の4綱領を計画的に学べるよう制度化を図っていきたくと考えている。

大崎英樹議員 児童・生徒の情操教育(心の教育)については。

村中委員長 情操教育は幅広く、奥深い大切な教育である。感動する心をもち、命の大切さを理解し、豊かな心を持つ子供に成長してほしいと願っている。

小学校では、放流体験、地引き網体験、菜園の活用、花壇整備等を通して、命の大切さ、自然を愛する心、思いやり、信頼等の価値を学ぶことを、中学校では部活動等を通して自己実現のために他者と協調し、目標に向けて努力する大切さ、新たな挑戦、勇気、感謝等を学ぶことに配慮して取り組んでいる。



定例会審議内容

▼水道使用料の軽減措置

Q 使用料が年々増加しているのは、畜産の規模拡大によるところが非常に大きいのでは。昨今酪農情勢は非常に厳しい。一般会計からの繰入金も減少しているので、使用料の軽減は考えられないか。

A 高金利の長期債の繰上償還等、また大きな事業が一段落しているが、水道施設は耐用年数を加味しながら永遠と更新を続けなければならない。料金改定については検討を要する。

▼合併処理浄化槽

Q 維持管理について、非常に汲み取り回数が多く、定期検査でも管理不備を指摘される。町として業者に行政指導できないか。

A 昨年は汚泥の引扱が遅れていることで、浄化槽協会から検査指摘を受けた。今年度は報告が提出されていないが、今年の年報を見て、業者に適切な指導をしてみたい。

▼パークゴルフ場の管理状況

Q 昨年の管理が良好でなかったと指摘があったようだがどのように対応したか。

A 芝の中に3年ほど前から白花クローバーが繁殖し拡大している状況である。新年度において、除草剤の使用や施肥等適正な管理を行なえるよう計画している。

▼図書館バスの利用状況

Q 現在の運行および利用状況はどのようになっているのか。

A 平成19年度で年間46日間。各小学校、豊頃コミュニティセンター、町立診療所近辺等を運行している。1千8百冊程度の貸し出しであり、近年、一般町民の方の利用は著しく減少している。直接図書館へ来館している側面もあるが各地域での利用は減っている現状。耐用年数等もあり、図書館バスの運行については十分調査検討を重ねてみたい。



▼給食費の改定

Q 新年度から給食費が値上がりするが、中学生より小学生の値上率が高いのはなぜか。

A 単価は、主食と副食の平均の額を算出しこれに牛乳代（小学・中学生同額）を加えたものを単価と定めている。安全・安心な給食を提供するため国内産の材料を主として使用する方針のもと、食材を検討した結果このような改定額となっていることをご理解願いたい。

▼プレミアム付商品券

Q 昨年暮れの分について求めることができなかった人がいる。また、入院等により期間内に使用できなかった人もいるが。

A 発行数については、今後計画するときは売れ行き状況を見ながら、商工会等も検討してまいる。また期間については、できるだけ短くして集中的に充てる考え方で取り組んできたが、今後販売店、商工会とも十分協議を進めたい。

▼給食センターの管理状況

Q 建設当初の能力から比して現在の稼働率はどうになっているか。また、建設してから10数年経過し、今後補修、設備更新等に係る経費の支出も考えられるが。

A 建設当初700食の提供規模であったが、現在は保育所も含め400食程度である。

施設の状況であるが、管理は十分行なっているものの、ボイラー等については耐用年数もあり数年の間には更新も考えられる。機器・器具類についてはメンテナンスをしっかりとしながら、大事に使っていききたい。

Q 児童・生徒数が減少するなか、どこまで給食が必要なのか、給食のあり方を考えるべきでは。

A 学校給食法に基づいて、適正に実施しているところであるが、児童・生徒数の推計等を含めて、給食のあり方について関係者の意見を聞きながら考えてみたい。

▼天体望遠鏡の活用は

Q 天体望遠鏡を設置している小学校があるが、他校との交流等も含めた活用はされているか。

A 社会教育事業等として天体観測を実施している。近年では、豊頃小学校の授業、PTAの講座など学校が主体として活用している。大津小学校の児童についても、なかなか単独で講座に参加ということは難しい状況であり、何らかの手立てを講じることも含めて、十分に交流、参加していただけるよう配慮していききたい。



【条例改正等】

▼豊頃町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

国は、介護報酬3パーセントの引き上げに伴い、急激に上昇する保険料を抑制するため、交付金を保険者(町)に交付する。これを一旦基金に積み立てし、平成21年から3年間、毎年取り崩し保険料の上昇を抑制する。

▼豊頃町表彰条例の一部改正

4年毎の表彰式を2年毎とし、表彰対象者の追加と表彰者選考委員会を組織することを定める改正内容を組織すること定める改正内容。

▼豊頃町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の給与に関する法律の一部改正において、育児短時間勤務の承認を受けて、育児休業しようとする職員に係る規定が改正されたことから、本条例中に定めている勤務の形態による勤務時間について改める。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正

通勤手当の支給に関する規定を改正するものであり、片道5キロ未満から40キロ以上までの9区分を、15キロ以上一律に改め、4区分にする。

▼児童福祉法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

児童福祉法に規定する医療給付の際の助成対象者の除外規定に、「小規模住宅型児童養育事業を行なう者が委託された児童」を追加する改正が施行されることから関係条例を整理する。

▼豊頃町介護保険条例の一部改正

介護保険制度を円滑に運営するため、3年ごとに介護保険事業計画の見直しを行なうが、平成21年度から平成23年度までの第4期計画について、介護保険料の改定を行なうことから本条例の一部を改正する。改正

▼健康保険法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

健康保険法に規定する診療報酬の算定方法の改正が施行されることから関係条例を整理する。

行政報告

第1回定例会において町長から行政報告がありました

1 とかち田園地域産業活性化協議会の設立

地域による主体的かつ計画的な企業立地促進等の取り組みを支援するとともに、地域経済の自立発展の基盤の強化を図ることを目的とし、平成19年に「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成および活性化に関する法律」が施行。

十勝管内にはすでに帯広市をはじめ、1市6町で構成する「帯広十勝地域産業活性化協議会」が設立されており、平成20年12月に地域産業活性化基本計画の国の同意を受けたところである。

「とかち田園地域産業活性化協議会」は、豊頃町ほか十勝管内の10町2村で構成し、十勝の中核である帯広市の外縁に位置する「とかち田園地域」が一体となって、国の支援等を十分に活用しながら、産業の集積・活性化を図るためには、体制整備と総合的な戦略が必要であることから、その母体として平成21年1月30日に設立された。

今年度中に平成25年度までを期間とする地域産業活性化基本計画を策定し、国の同意を受けた後、地域のPRや企業情報の収集、提供など様々な企業誘致に関する活動を展開する予定である。

2 生活対策定額給付金事業

景気後退下での生活者の不安にきめ細かく対応するための緊急支援として実施され、定額給付金および給付に係る事務費の全額に対し、国からの補助金が市町村に交付される。

本町における給付対象世帯及び支給総額は、1,490世帯5,874万8千円を予定している。

申請の受付については、移動窓口を設けるほか、単身高齢者世帯及び高齢者夫婦世帯の一部においては職員が訪問を行なう。

3 地域活性化・生活対策臨時交付金事業

経済情勢の悪化による国の経済対策として、地方公共団体が地域の活性化等に積極的に取り組むことができるよう創設された。

国が交付金を交付することにより、地域活性化等の速やかかつ着実な実施を目的として、国の平成20年度第2次補正予算により交付されるものであり、本町の交付金額は、2億3,377万6千円を上限とされている。

本町においては、17事業2億9,571万5千円の事業費を計上。基幹産業である一次産業の振興と商工業の活性化に努めてまいりたい。

意見書

▶市町村立病院病床の経営安定化と療養病床の維持存続を求める意見書

▶平成21年度酪農畜産政策・価格対策に関する意見書

▶中山間地域等直接支払制度の継続に関する意見書

▶公契約に関する基本法の制定を求める意見書

▶雇用対策の充実・強化とセーフティネットの拡充を求める意見書

いずれも原案可決され、関係省庁に提出されました。

第1回臨時会(2月5日)

一般会計補正予算(6号)

歳入歳出予算それぞれ4、229万3千円を追加し予算の総額を39億5、991万5千円とする事に可決しました。

補正の内容は、雇用対策の一環で地域活性化・生活対策臨時交付金事業として町道維持補修工事に746万6千円、河川維持補修工事に2、223万円、ほかに除雪委託料に1、120万円、豊頃小学校特別支援教室改修工事に139万7千円である。

町有財産の無償貸付

国の直轄事業で実施されている十勝川下流域の河川改修事業の整備促進を図ることを目的に、帯広開発建設部池田河川事務所へ未利用となっ

第2回臨時会(3月27日)

物品の取得

物品の購入にあたり指名競争入札で落札したが、取得価格が700万円以上の契約であることから条例の規定により議会の議決を求められた。取得する物品は冬期間の路面管理をはじめ通年の道路等の維持管理で使用する4トンダンブトラック1台で小型クレーン付の四輪駆動車で契約金額は1千197万円である。

ている幌岡及び大津の町有地30万7、202平方メートルを十勝川築堤盛土工土砂の一時堆積用地として平成21年から平成31年まで無償で貸付する。

議会日誌

〔2月〕

5日 第1回臨時会

議員全員協議会

17日 例月現金出納検査

報告書受理

18日 十勝町村議会議長会

役員会 帯広市

25日 十勝町村議会議長会

定例会 帯広市

豊頃町教育事務執行の点検・評価報告書受理

26～27日 元議会議員研修会

音更町

27日 議会運営委員会

十勝圏複合事務組合

議会定例会 帯広市

十勝環境複合事務組合

議会定例会 帯広市

〔3月〕

2日 議員全員協議会

5日 第1回定例会(1日目)

(条例改正等、補正予算、その他)

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

9日 第1回定例会(2日目)

(新年度予算)

10日 第1回定例会(3日目)

(新年度予算)

11日 第1回定例会(4日目)

(一般質問、その他)

議会広報特別委員会

17日 例月現金出納検査

報告書受理

25日 東十勝消防事務組合

議会 幕別町

27日 第2回臨時会

〔4月〕

8日 壮瞥町議会行政視察

9日 議会広報特別委員会

14日 例月現金出納検査

報告書受理

15日 十勝町村議会議長会

役員会 帯広市

17日 議会広報特別委員会

十勝町村議会議長会

定例会 帯広市

23日 議会広報特別委員会

◎今後の予定

〔5月〕

8日 第3回臨時会

〔6月〕

中旬 第2回定例会